



2008年6月1日発行 第192号

発行所 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会 〒160-0005 東京都新宿区愛住町23-1 Woody21-9階 TEL.(03)3356-8217 FAX.(03)3356-8637 発行責任者:中野勝博 http://www.marrow.or.jp/ E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座 00150-4-15754 銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 普通 5666655

# 財団「0円契約」撤廃!

## 集団登録会実施困難に

各ボランティア団体にに対し、5月15日付けで骨髄移植推進財団広報部長名で「集団登録会における医師、看護師の派遣等に関する対応について」という文書が発出されました。

財団が企画する集団登録会において、これまで日赤や保健所からの医師・看護師の手配が困難な場合の措置として、ボランティアとして協力が得られた医師や看護師は日赤と報酬なしでの臨時雇用契約を結び、医療事故が発生した場合に備える通称「0円契約」が交わされてい

善意の第三者の視点に立った仕組みの確立を求める寄稿がありましたので、ご紹介いたします。

\*\*\*

新潟で行う集団登録会は、医師も看護師も全てボランティアでした。医師は個人的な協力、かつ医師会から派遣書を出していただき、看護師は看護協会から派遣して頂いておりました。しかし、労働基準監督署から雇用契約の問題点が指摘され、平成20年の4月から、医師、看護師は保健所や日本赤十字社からの派遣でないと、集団登録会はできないことになりました。新潟の会では1年間の計画を立てていましたが、全て白紙となりました。

このたび、「0円契約」のような賃金が支払われない雇用では労災認定が受けられないことが判明し、今回の文書発出になったものです。今後、登録業務を受け持っている日赤や保健所などの協力なしには、集団登録会は実施できない事になります。

財団は、約10年前に始まった集団登録会における「0円契約」や、2000年からの献血併行登録会における説明員制度など、患者の救命を願うボランティアの熱意と行動を後追する形で制度を整えて来た訳ですが、急場しのぎを繰り返して来た10年に終わりを告げ、新たなシステムを構築する時が来たのかもれません。

献血ルームが少ない地域においては、いままボランティアの企画によって集団登録会が実施されており、今回の変更の際に



国協議会やメイク・ア・ウィッシュなど、hideと生前関係の深かった団体を始め、5つのボランティア団体が2日間におたり、会場で活動のPR・募金・物品販売等を行いました。

家族が提供した闘病の記録、ドナー登録の流れを説明したポスターなどを掲示し、ドナーになる事の意義を理解してもらうことを中心に考えました。

その場で登録できないとなると、やはり申込書を書いてくれる人の数は減少します。上越では、献血ルームがなく、保健所の決まった曜日(平日)に予約をしないと登録受付してもらえないのです。それでも、17名が説明を聞き、申込書の記入をしてくれました。折りをみて保健所に足を運んでくださるのだろうかと思いましたが、再度手問をかけさせてしまう事を心苦しく感じました。

ドナー登録者30万人に到達した今、この一連の出来事を通じて、主催者や受付窓口中心の視点から、善意の提供者が一番やりやすい環境にむけて仕組みをつくる(立て直す)視点へと、見方を変える必要があり、そのための協力体制を作っていく必要性を再認識しました。(上越 重嶋)

## みんな受け継ぐhideの想い

### 追悼イベントで骨髄バンクPR

難病の少女を励ますため、「できることをするだけ」と自らも骨髄バンクに登録したhideが亡くなって10年になります。

hideを慕い影響を受け

たアーティストたちが東京味の素スタジアムに集結し、「hide memorial summit」が開催されました。本ライブはチャリティーイベントとしても位置づけられ、全

国協議会やメイク・ア・ウィッシュなど、hideと生前関係の深かった団体を始め、5つのボランティア団体が2日間におたり、会場で活動のPR・募金・物品販売等を行いました。

ボランティアの原点に立ち返るような経験をさせてもらった感動的な一日でした。参加された皆さん、本当にご苦勞様でした。

### 参加者の声

◆今回の様な素晴らしいイベントのお手伝いできた事に感謝しております。

実は私、高校生の時からX JAPANの大ファンでファンクラブにも入っていたほどです。会場ではドナー登録は出来ませんが、応援の言葉も頂き、励ましや感謝の言葉も頂きました。とてもありがたいことです。大きな励みになりました。そして何より主催者さんのご厚意により身近でライブが観られた事が私にとっては最高の思い出になりました。ありがとうございました。(とちぎ 松本)

◆初めての事が多く不安でしたがとても良い経験ができた2日間でした。

私はヴィジュアル系の音楽が好きなので今回の活動で手伝いができるのは嬉しかったのですが、最近ファンナーの悪さが指摘されていて、正直活動場所がライブ会場というのは不安でした。

しかし、当日は沢山の方が募金をしてくださいました。2日間ともチャリティーブースへ足を運んでくれる方も多く、「頑張つて」と声をかけてくれる方もいて、温かい気持ちになりました。

hideの人を思いやる優しい気持ちや人柄に共感する人が多いから、これだけたくさんの方が会場に集まり、hideが応援していた骨髄バンクに協力してくれたのだと思います。



2008.0

また、私が思っていたよりもずっと多くの方が骨髄バンクの事を知って驚きました。登録したい」と言ってくれた方もいて、嬉しかったです。

最終日の公演は、予定よりも遅くに終わったため、お客さんが早足で帰って行きました。チャリティーブースは通路側向きではなかったため、急遽ブースから通路に出て募金をお願いをしました。急いでいるにも関わらず、沢山の方が足を止めて

## 地上45階で「いのちの輝き展」開催!

5月9日から12日まで、東京都庁45階南展望台で、NPO法人日本移植者協議会の主催による「Gift of Life」のちの贈りもの」が開催され、臓器移植を受けた子どもたちの絵画、移植者スポーツ大会の写真が展示されました。

会場には昨年に続き骨髄バンクコーナーが設けられ、全国協議会も協力団体として、「いのちの輝き展」を展示し、臓器移植と共に、造血細胞移植医療の理解や協力を呼びかけました。9日のオープニングには、移植を受けた出品者の代表として、6歳当時の絵が展示されている小林未央さん、(社)日本臓器移植ネットワーク専務理事尾崎鉄郎さん、そして当協議会から遠山将一副理事長が出席し、テープカットが行われました。



外国人観光客も多い展望台でもあり、ぜひ来年は英訳も展示したいと思っております。

## 骨髄バンクの最新情報をお知らせする —— 骨髄バンクNOW

(財団マンスリーレポート (5月15日発行) より抜粋)

### ●地区普及広報委員、説明員の活動費の改定について

地区普及広報委員、説明員の活動条件向上を目的とした活動費の見直しについて、4月18日の常任理事会で検討が行われ、活動費の改定が承認されました。5月1日の活動より適用しています。

地区普及広報委員、説明員の活動費  
1日につき3,000円(今まで2,000円)

### ●海外渡航および感染症に関するドナー適格性の見直しについて

財団のドナー適格性については日本赤十字社の献血基準を参考しておりますが、海外渡航および感染症に関するドナー適格性について、患者さんが移植を受けるチャンスと感染症のリスク、また骨髄移植における緊急性・代替性の観点から、見直しを行うこととしました。

問診で不適格としているものうち、患者さんにとってのリスクが小さいと考えられる下記項目の判定基準の変更について、ドナー安全委員会・医療委員会にて検討を行い、4月18日の常任理事会で承認されました。今後、運用方法について、関係者に周知を行い、5月下旬頃から運用開始する予定です。

### 1.マラリア流行地域への渡航歴のある方についての新たな判定基準

#### ◆日本骨髄バンクの現状(平成20年4月末現在)

	3月	4月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,756	3,070	308,872	390,323
患者登録者数	200	214	2,458	24,904
骨髄移植例数	99	86	-	9,323
20歳未満ドナー	-	274	7,456 <sup>1)</sup>	-
51歳以上ドナー	214 <sup>2)</sup>	77 <sup>3)</sup>	10,797 <sup>4)</sup>	-

①1年以内に当該地区へ1ヵ月以内の旅行をした場合、郊外の農村部や森林地帯へは出かけていなければ可。

②1年以内に当該地区へ1ヵ月を超える旅行をした場合は、患者主治医判断。

③1年以内に当該地区の郊外の農村部や森林地帯へ出かけた場合は、滞在期間に関わらず患者主治医判断。

④帰国後、マラリアを思わせる症状があった場合は、感染が否定されるまで不可。

⑤3年以内に当該地区に3ヵ月を超えて滞在した場合、予防薬服用者した場合は帰国後、服薬後3年間不可。

2.ピアス・刺青(タトゥー・アートメイク含む)についての新たな判定基準  
ピアスや刺青等をした時期(ピアスの場合は外した時期も)、部位等の情報を提供し患者主治医判断となります。

●4月のドナー登録会、区別登録者数  
全国各地のボランティア団体等の協力のもとで行われているドナー登録会の4月の区別登録者数は、献血併行型集団登録会/1,151人、献血ルーム/1,699人、集団登録会/110人、その他/110人でした。

注) 数値は速報値のため次月に訂正されることがあります。  
\*1) 17年3月~ \*2) 51歳以上ドナーの延長数 \*3) 51歳以上ドナーの新規登録数 \*4) 17年9月~

# 心からのご寄付に 感謝申し上げます

4月22日～5月25日

ドラマ～30万人の奇跡から～ 著者原作料	現金 945,000円
たっくママの投稿募金4月分	現金 3,948円
㈱サクラホーム	現金 10,000円
㈱タクトコーポレーション	現金 10,000円
ウッディチキン・読書普及協会 ヒューマンフォーラム	
「未来をきりひくために」セミナー募金	現金 70,598円
匿名	現金 5,000円
小林あけみ	現金 2,000円
小林恵子	現金 2,000円
千葉陽介	現金 2,000円
塩谷 圭	現金 1,000円
須藤勝巳	現金 6,545円
山田康博	現金 9,880円
田中奈美	現金 10,000円
可児東ライオンズクラブ	現金 13,858円
平松泰子	切手 2,290円
hide memorial summit会場募金	現金 1,588,982円

### ●白血病患者支援基金

㈱グルメシティ北海道万代店	現金 1,563円
㈱千曲堂印舗	現金 4,275円
かじ家	現金 888円
ファミリーマート啓友深谷上柴店	現金 11,780円
ファミリーマートFC池ノ上北口店	現金 2,592円
㈱北越ケーズ	現金 28,792円
タケダドラッグ新大宮店	現金 10,431円
グリーン薬局	現金 5,022円
小樽ロータリークラブ	現金 12,150円

### ●佐藤さち子患者支援基金

Beads Stand	現金 3,000円 (敬称略)
-------------	-----------------

### 活動資金の援助をお願いします

銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会



職員と全国協議会事務局による混成メンバーで、子どもたちに骨髄バンクについて知ってもらおう「わんぱくクイズ」を行いました。「こつずいってなに？」から始まる説明パネルと、低学年と高学年に合わせたクイズパネルが用意され、一人ずつ渡されたカードによって、回答する形式となっており、子どもたちは説明パネルとクイズパネルの間を



「育て！ 未来の格闘家!! ファイティングスピリッツでチャリティ！」

5月25日、東京・大森のワールドジムサウス東京アネックス格闘技スタジオにてワールドジム格闘技スクール発表会「ファイティングスピリッツ」が開催されました。今年1月のダンス発表会に続き2回目となりましたが、ワールドジムの立上げに尽力された、故アンディ・フグさんの遺徳を偲ぶ関係者の皆様の思いが、チャリティ・イベントとして結実したものです。

「努力・礼儀・思いやり」が、骨髄バンクに通ず!

5月24日、第32回わんぱく相撲新宿区大会が新宿コズミックセンター(東京)で開催され、会場では骨髄バンクの普及啓発も行われました。

「わんぱく相撲」は、日本の国技とも言われる相撲を通じて、「努力・礼儀・思いやり」といった、社会生活の中で大切なことを子ども達に学んでもらうことを目標として、社団法人東京青年会議所が行っている伝統あるイベントです。

行ったたりきたり。全開正解者にはお菓子やおもちやがぎっしり入った募金箱からのつかみ取りが待っているとおあって、ボードを見つめる目も真剣そのもの。友達同士で相談しながら取り組む姿も見られ、土俵の外でも「努力・礼儀・思いやり」が実践されているなあと思えました。

東京21世紀ライオンズクラブのみなさんの働きかけで、会場では献血行ドナー登録会も行われ、40名の献血と6名のドナー登録もありました。

「育て！ 未来の格闘家!! ファイティングスピリッツでチャリティ！」

キシビジョンマッチャ、K-1 戦士の天田ヒロミ氏による迫力あるスパーリングも行われ、観客のみなさんも大盛り上がりでした。発表の合間に行われた寄付贈呈式には、大橋理事が出席し、皆様からのお志への感謝と共に、骨髄バンクの必要性や協力を呼び掛けました。

格闘技に燃える皆さんの熱い思いに、これからの元気をいただいた1日となりました。

まだ、この頃は公的骨髄バンクもなく、親族にドナーが見つからなければ、移植は、まず不可能という時代。当時と比較すると、治療状況も大きく進歩してきてはいますが、まだまだ多くの人達に、こうした活動を

熊本 あやちゃん展で  
思いを新たに!

4月23日、湖東学園・子ども森・岡田童話館(熊本市)で開催されていた『あやちゃん』の贈り物展』に行ってきました。主催は「NPO法人みどりの会」で、昨年も湯布院の方で開催されています。会場は、交通の便もよく、天井の高い白いさわやかな空間でした。

各地のたよりを  
写真を添えて  
お寄せください。

5月4日、宮崎の皆さんの協力もお願いして、元患者2名とドナー体験者4名によるミニ「対談」を行いました。

まずは若い女性にたくさん参加していただくにはと、最近人気を集めているアフリカンジャンベとダンスを午前と午後の2回お願いしました。その間、ステージでミニ対談を行い、お昼の休憩時間にドナー登録会と、ジャンベ教室を開いてもらって、最後はプロの奏者と初めての体験者が一緒に演奏とダンスを楽しみ盛り上がりました。

秋田 医療講演会&  
患者相談会イン秋田

5月18日(日) 秋田大学医学部に於いて「第7回血液疾患・医療講演会&患者相談会」が50人以上の方に参加いただき、今年も無事終了しました。

講師は秋田大学医学部第三内科澤田教授、高橋講師、廣川腫瘍センター長、中通総合病院小児科渡邊部長、血液情報広場つばさの橋本代表の5名の先生方。悪性リンパ腫や白血病の最新治療とその選択、闘病生活について、また、秋田県におけるがん対策という包括的なテーマなど、それぞれの先生から最新情報を

静岡 「登録希望者は  
何が知りたい？」が  
来年への課題

毎年5月ごろ、ヤマハ発動機株式会社では労働組合の本社支部と本社工場支部の共催で「ヤマハファミリージャンボリー」を開催していますが、今年5月18日に行われました。骨髄バンクのPR活動の場を提供していただくのは4回目、今回は全国協議会から「著名人のメッセージ」作品を貸し出ししていただき、会場内で展示しました。天候に恵まれた過ごしやすいい日で、多くの方が作品を見てくださいました。登録を考慮しておられる方からドナー登録についての質問があり、登録会と同様に説明させていただき、液晶テレビも準備していただくことができましたので、登録会で見ていただくDVDも流してPRに努めました。

東京 コラボレーション企画

5月10日、アクロスモール八王子みなみ野において、「骨髄バンクドナー登録PR活動」ののちの輝き展」を行いました。本企画は、アクロスモールに店舗を構えるみなみ野エージェン



岩手 「いのち伝えよう」  
キャンペーン実施中

今年、地元岩手のIBC岩手放送(TBS系)が、開局55周年を迎えることを記念して55周

第78回 理事会報告

5月11日 東京晴海海員会館(協議事項)

●2008年度通常総会&代表者会議について

●「ボランティアの集い」について

〈報告事項〉

●hide追悼イベントでの普及啓発活動について

〈今後の予定〉

2008年7月20日 第79回 理事会

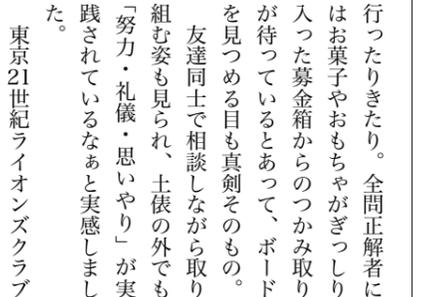
お話しいただき、その後の座談会、個別相談と熱気に溢れた一日となりました。

回を重ねる毎に新たな患者さんが参加され、患者支援事業として今後も継続していかなくては、思いを新たにしました。(菅)

年キャンペーンテーマ「いのち伝えよう」という企画をテレビ・ラジオで展開しており、臓器移植や自殺・といった人の命を取り上げ問題提起を夕方ニュース番組の中や、ラジオ番組で放送しています。3月には3週間にわたり連続して「骨髄バンク」も取り上げていただき、ラジオ・テレビで放送されました。具体的には、骨髄バンクとは！骨髄移植とは！骨髄バンクにおける提供者と患者の諸問題は！という内容で、はじめはテレビで放映され、翌週テレビで流した同じ内容がラジオで流され、テレビやラジオを聴いた視聴者の感想をさらにラジオでパーソナリティが放送するという手法で構成された番組です。視聴者からの感想で「骨髄移植できれば患者さんはみんな元気になれると思っていました。でもこの放送で移植できても約半分の患者さんしか元気になれないことや知りませんでした。」などの意見が寄せられておりました。

引き続き現在も、ラジオで毎週水曜日前11時から10分間、いのちに関するエッセイが紹介されるコーナーがあり、その中で患者とドナーのお手紙や活動が紹介されています。

放送により、骨髄バンクについての正しい情報、いのちの大切さが多くのおみなさんに届くことを願っております。(橋本)



「登録希望者は  
何が知りたい？」が  
来年への課題

毎年5月ごろ、ヤマハ発動機株式会社では労働組合の本社支部と本社工場支部の共催で「ヤマハファミリージャンボリー」を開催していますが、今年5月18日に行われました。骨髄バンクのPR活動の場を提供していただくのは4回目、今回は全国協議会から「著名人のメッセージ」作品を貸し出ししていただき、会場内で展示しました。天候に恵まれた過ごしやすいい日で、多くの方が作品を見てくださいました。登録を考慮しておられる方からドナー登録についての質問があり、登録会と同様に説明させていただき、液晶テレビも準備していただくことができましたので、登録会で見ていただくDVDも流してPRに努めました。